

しあわせ メッセージ 幸福の手紙 審査総評

- 本年は、両親(特に母)に対する感謝と、友人に対する感謝をテーマとしたものが多い傾向だと思いました。電車の中で席を譲ったことに対する経験など、何気ない日常に対する感謝がテーマの「小さな幸せ」と改めて気付くという内容とともに、それに気づいて大切にしたいと気付いたことが、今回の しあわせ メッセージ 幸福の手紙 を行った意味があるものと思います。甲乙つけがたく、選ぶのに大変でした。
- 今回も色々な方達の感動するエピソードを読ませて頂きました。学生だったり、妻を亡くした男性だったり、又、外国人だったり、様々な方達の「幸せ」に触れることが出来ました。ありがとうございます。
- 「食」への気持ちが多く目立ったように思います。学生が授業で書いた印象は強いのですが、「幸せ」について、改めて考える時間になって良いのでしょうか。「家族への愛情」を表現する大切さは伝わってきました。「感謝」と「しあわせ幸福」は濃い繋がりがあるのですね。
- 全般的に、日常の当たり前の生活の中に「幸せ」を感じる手紙でした。10点を選考した理由は、読んだ際に、情景が鮮やかに脳裏に浮かんだ為です。作品は甲乙つけがたい内容でしたが、296点の作品を読んで改めて「幸せ」って身近の日常生活にあるものと確信することが出来ました。心のあり方を少し変えるだけで、人は誰でも「幸せ」になれるものなのですね。
- 「小さな幸せ」がこんなに沢山あって、ほっとしました。でも受け身の「幸せ」が多いですね。誰かの為に、何かの為にアクションを起こして勝ち取る、積極的な「小さな幸せ」がもっと増えるといいですね。そんな視点で選びました。
- 296通の しあわせ メッセージ 「幸福の手紙」に心温まる思いでした。やはり、家族との何気ない日常生活の中で「幸せ」を感じている作品が多いようでした。NO.6は、親の深い愛情が表れており、NO.48は、お母さんの卵焼きは最高ですよ。NO.83 リウマチでも、身体を自由に動かすことへの喜びが感じられました。NO.86とNO.95も施設の暮らしの中の幸せ。NO.90 異国で良く頑張りました。だから今の貴方が居るのでしょうか。NO.104とNO.206は中高年だと思いますが、いい味出しています。NO.244は、このように心配してくれる友が居る事は、本当に幸せですね。NO.291、293、294、295も良かったのですが、カンボジアを代表してNO.296を選びました。

- 1～296の皆さんから、たくさんの^{しあわせ}幸福の^{メッセージ}手紙を読ませて頂きました。30名の中から10名を最後まで審査させて頂きましたが、皆さん良く書いていましたし、それぞれの感謝の気持ちが良く理解もできました。
幸せは誰でも願っていることです。小さな幸せをこれからも見つけていきましょう。私も大変心が豊かになりました。皆さん本当にありがとうございました。
- まだまだたくさん選びたい作品がありました。心が熱くなり、元気を頂きました。審査させて頂きありがとうございました。
- どの作品も、身近に感じる^{しあわせ}幸福の^{メッセージ}手紙を書かれており、心打たれるものばかりでした。この作品を書いた事を機会に、^{しあわせ}幸福の^{メッセージ}手紙を大きな^{しあわせ}幸福になるよう感謝しつつ読ませて頂きました。